CISSP とは？

合格への完全ガイド

8 ドメイン・ 5 年経験の国際最高峰資格

難易度・勉強法・年収への影響を最新データで徹底解説



自分に必要か判断したいでしゅ

段階的な攻略法がある



セキュリティプロ

【解説に入る前に】サービスのご紹介

セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

詳細を見る →

セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

詳細を見る →

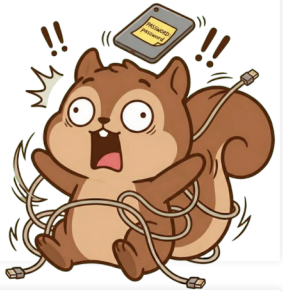
**どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。**

© 2026 スプラッシュエンジニアリング

CISSP とは？ ISC2 が認定する国際資格

正式名称と認定団体

ISC2 （1989 年設立）が認定する世界最高峰のセキュリティ資格



グローバルな通用性

世界 180 カ国以上で通用する国際認定基準に完全準拠

権威の源泉

30 年以上の歴史と政府・軍の採用実績が国際的信頼を支える

世界最高峰と呼ばれる 3 つの根拠

8 ドメインの網羅性

技術からガバナンスまで横断カバー。経営層と話せる専門家を育成する設計



5 年実務経験の厳格要件

試験合格だけでは認定されない。実務裏付きの専門家証明として差別化

16 万人超のネットワーク

情報共有・キャリア形成に実際に役立つ全世界のプロネットワーク

3 要素が揃って初めてセキュリティリーダーの証明として世界で通用する



試験概要【費用・形式・受験条件】

受験料・出題形式

749 ドル。英語 CAT100 ～ 150 問／日本語 250 問・ 6 時間



合格ライン・再受験

700/1000 点以上。不合格後 30 日待機・年 3 回まで

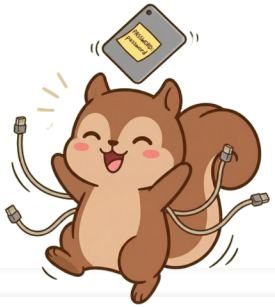
受験の鉄則

一発合格が最もコスト効率が高い。十分な準備期間が不可欠

経験不足でも挑戦できるアソシエイト制度

アソシエイト制度

試験合格後 6 年以内に経験要件を充足すれば正式認定



CC 経由の段階ルート

CC 取得→実務経験→ CISSP 。 CC は経験免除の対象外

救済制度

経験が足りなくても今すぐ動き始めることがキャリアの差になる

8ドメイン前半：基盤・設計領域



D1 リスク管理 16%

最大配点16%。ガバナンス・ BCP ・コンプライアンスを経営視点で問う



D3 アーキテクチャ 13%

ゼロトラスト・暗号技術・物理セキュリティの設計原則



前半の鉄則

D1は最大配点16%。マネジメント視点の習得が合格の分水嶺

8ドメイン後半：運用・開発領域

D5 IAM 13%

ゼロトラスト実装の核心。 PAM ・ SSO ・多要素認証の統制力



D7 セキュリティ運用 13%

SOC ・ CSIRT 直結。インシデント対応・ DR ・ログ管理

後半の特徴

実務経験者が馴染みやすい領域だが全8ドメイン均等な学習が必須

合格率は非公表・不合格になる３つの落とし穴

技術偏重・リスク視点不足

技術偏重は禁物。組織全体のリスク最小化視点で回答する訓練が不可欠



英語ベースの思考様式

日本語版でも原文は英語。翻訳特有の曖昧さを読み解く訓練が不可欠

暗記頼りで概念理解不足

「なぜそうすべきか」を問う試験。用語の暗記だけでは太刀打ちできない

Think like a manager の視点が合格の最短経路



主要セキュリティ資格との比較

CISSP

国際通用度 最高水準

・受験料 749 ドル・ 5 年実務経験必須
・ 8 ドメイン横断の超広範な試験範囲
・外資系・グローバル企業で採用条件に
・維持費年 $135 ・ 3 年 120CPE

VS

情報処理安全確保支援士

取得コスト 圧倒的優位

・国内試験で受験料が安く実務経験も不要
・技術系セキュリティに特化した試験範囲
・国内企業で広く認知される定番資格
・維持費年 2 万円＋実践講習費

判断の軸

グローバル展開なら CISSP 、国内重視なら登録セキスペから

独学合格の 4 ステップロードマップ

1. **全体像の把握**
   1 ヶ月目：公式テキスト（Sybex）を通読し 8 ドメイン全体を俯瞰する
2. **ドメイン別深掘り**
   2 〜 3 ヶ月目：弱点ドメインを特定し重点的に理解を深める
3. **問題集で実戦演習**
   4 〜 5 ヶ月目：マネージャー視点での回答を問題集で徹底的に習慣化
4. **模擬試験と弱点補強**
   直前 1 ヶ月：時間配分を確認し弱点の最終補強を完了する

準備が全てだ。焦りより準備を



CISSP 保持者の年収レンジとキャリアパス

国内年収レンジ

CISSP 記載の公開求人 13 件

中央値 650 万円（ 450 ～ 1,100 万円）

セキュリティコンサル（公開求人 9 社）

600 ～ 1,200 万円

CISO ・部門長（公的統計の部長級）

約 1,213 万円

グローバル平均 約 12 万ドル（ ISC2 ）



活きる職種・キャリア

CISO ・セキュリティ統括

8 ドメインの知識が直接活きる最上位ポジション

セキュリティコンサルタント

上流 PMO ・ガバナンス案件で特に高評価

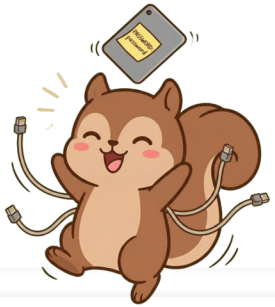
フリーランス独立

高単価案件・リモート中心の柔軟な働き方

資格維持 CPE と上位資格（Concentrations）

CPE ・年会費

3 年 120CPE ・年 $135 。 3 年維持費合計 $405



上位資格 3 種

ISSAP ／ ISSEP ／ ISSMP の 3 種。 CISSP 認定者のみ受験可

合格後の展望

CISSP は終点でなく出発点。継続学習が資格の価値を維持・向上させる

まとめ

CISSP は ISC2 が認定する 8 ドメイン横断の国際最高峰資格。全世界 16 万人超の認定者を誇る

試験は 749 ドル・ 5 年実務経験必須。アソシエイト制度で経験不足でも先に合格できる

国内は CISSP 記載の公開求人 13 件で中央値 650 万円（450 ～ 1,100 万円）。セキュリティ人材不足で需要は拡大中

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

セキュリティプロ・フリーランス ＞

セキュリティプロ・テンショク ＞

